

## 阿蘇市で植樹活動盛ん

### 「阿蘇大観の森」に750人

肥後銀行（小栗宏夫頭取）と財団法人肥後の水資源愛護基金（長野吉彰理事長）は、平成18年2月に購入した小倉の山林（52ha）を「阿蘇大観の森」と名づけ、銀行役員や家族、OBなどが環境保全を目的に水源かん養林の植樹作業を行っています。4月5日は、第3回目の植樹があり、750人もの方々が参加し、9,000本の苗木を植樹しました。また、この森で3月22日、九州電力株式会社職員300人も肥後銀行と共同で7,500本の植樹を行っています。

これに際し、地元小倉・西小倉地区は、小学校をはじめ地域を挙げて歓迎し、植樹の手伝い、豚汁やおにぎりの炊き出し協力ほか、小倉虎舞保存会が阿蘇五岳を背景に虎舞を披露し大変喜ばれました。

このほか、南九州コカ・コーラボトリング株式会社の職員も、阿蘇いこいの村近くの山林で水源涵養林造林活動を展開中で、4月12日は150人が参加し第3回植樹に汗を流しました。



「阿蘇の美しい自然をみんなで守りましょう」と参加者に呼びかける長野理事長



記念植樹の様子。写真左から山本区長、佐藤市長、NDRの村上社長。

### 桜の苗木1000本を寄贈

埼玉県戸田市に本社を持つ機械製造会社「NDR株式会社」の代表取締役村上美廣氏が、本市の自然・景観保全活動の取り組みを知り、ぜひ応援したいと桜の苗木1,000本を寄贈されました。桜の苗木は、大半を阿蘇市の玄関口でもあり景観の良い「車帰公園」（二重の峠登り口、県道菊池～赤水線沿い、約2ha）に植えることになり、4月2日、村上氏と地元の方々30人が参加し苗木贈呈式と植樹作業を行いました。

村上氏は、熊本市の出身で、昔から阿蘇に愛着があり、今後も、阿蘇に適した桜の苗木を寄贈するとのことです。車帰公園は35年前から地元の方々憩いの場として管理している公園です。数年後には桜の名所になることでしょう。

### 湯山忠霊塔西斜面に水源涵養林造林を計画

4月22日、阿蘇市はNPO法人「災害通信ネットワーク」（橋柿正興理事長）と内牧1区湯浅陸雄区長と水源涵養林造林契約を結びました。同法人は、アマチュア無線愛好家で組織する団体で、1991年に発足し、長崎の雲仙普賢岳の火砕流被災地の植樹を10年間続けてきました。

今回、長崎での活動が一段落したこともあり、阿蘇地域は熊本市の大切な水がめであることから、阿蘇市有地（湯山忠霊塔西斜面）2,811㎡に水資源確保の啓発運動・水源地周辺の環境整備をしていくことになりました。

早速4月29日、（社）国土緑化推進機構の「緑の募金公募事業」の一環として、桜66本、イチヨウ35本の苗木を地元区民と一緒に植樹されました。



調印式の様子。写真左から佐藤市長、橋柿理事長、湯浅区長。



### 「阿蘇チャリティーゴルフ大会」益金を社会福祉協議会に寄付

4月13日、第3回阿蘇市民チャリティーゴルフ大会が赤水の阿蘇リゾートグランヴィリオホテルゴルフ場で開催されました。この大会は、市民の健康保持と市民相互の親睦と融和を図ることを目的として開催され、今年は90人の参加者が汗を流しました。

なお今大会での益金84,413円を阿蘇市社会福祉協議会に寄付いただきました。

主な入賞者は以下のとおりです。

< ネット部門 >

- 1位 佐藤 日出生
- 2位 甲佐 綾子
- 3位 相坂 治幸

< ベストグロス賞 >

井手 康幸（スコア74）